

平成29 年3月1日

藤井寺市長 國下 和男 様

藤井寺市公共施設マネジメント検討委員会
委員長 辻 壽一

藤井寺市公共施設の再編方針他について（答申）

平成 28 年 5 月 25 日付 藤総資 第 35 号で諮問を受けました標記につきまして、別添のとおり答申いたします。

答申にあたり

今回、委員会では、藤井寺市の現状および目指すべきまちづくり像を前提に、公共施設再編の検討を進めてきました。

人口構成や社会情勢による市民ニーズの変化、老朽化が著しい施設の現状、そして逼迫する財政状況という大きな課題に日本全体が直面しています。

市民の生活を守り、未来の子供たちのためにも持続可能なまち「藤井寺市」を作っていくという強い決意が必要です。

そのためには、今ある施設をただ保有し続けるのではなく、本当に必要な施設はなにかを市民との協働で考え、そして実行していくことが大切です。

市民の皆さん、市の職員の皆さんが知恵を出し合って協力し、今後、人口や税収の減少が避けられない状況にあっても、市民の安心・安全な暮らしを守り、子供たちの未来を支えていくことのできる施設整備が、われわれの考える公共施設再編の姿であります。

本計画では、「子育て支援充実」「にぎわい創出」「教育活動充実」「安定した行政サービス提供」「広域化・公民連携による行政サービス充実」の5つのテーマ毎に施設を分類し、それぞれに、目指す姿に向けた再編の方向性を検討しております。また、30年の計画期間を概ね10年毎の期間に区分し、計画的に検討・実行を進めることとしました。

公共施設は、市民共有の財産です。そこに投じられる財源もまた、市民共有の貴重な財産です。いずれも無駄にすることなく有効に活用し、次世代へ引き継ぐと共に、その魅力を一層高め、成長し続けられるまちであることを望んでおります。

今後の公共施設再編にあたり、下記の付帯意見を添え、本再編基本計画を以て答申とします。

記

1. 本基本計画に則り、スピード感を持って、着実に実行計画の推進に努めること。
2. 市民等の声を聴き、市民等との協働の下、取組を進めること。
3. 将来にわたって維持すべき施設は、ライフサイクルコストを見据え、計画的な保全を行うことにより、可能な限り長寿命化を図ること。

以上